

多様な生態系



戸隠奥社参道・杉並木



鍋倉山・ブナ林



白馬岳より



姨捨棚田



苗場山



上高地



諏訪湖



霧ヶ峰



阿寺溪谷



中央アルプス



氏乗分教場後の桜



天竜峡

高山



コマウスユキソウ



カヤクグリ



ウルップソウ



お花畑



ツクモグサ



ライチョウ



五龍岳

高山



矮性低木群落にいるライチョウの親子



ミヤマトリカブト



ホシガラス



ツガザクラ



トウヤクリンドウ



キノガサソウ



ハイマツの実生



ヒメクロマメノキ



コケモモ



仙丈ヶ岳



シナノキンバイ

森・林



ニホンカモシカ



ニホンザル



シラネアオイ



ウロコノキシノブ



オオイチモンジ



ヤシャイノデ



ナベクラザゼンソウ



亜高山帯針葉樹林

里・山



ギフチョウ



フクロウの巣立ちヒナ



コキクガシラコウモリ



エビネ



ササユリ



カタクリ



ニリンソウ



キクザキイチゲ



ハナノキ



ニホンザル

里・農



サシバ



ノスリ



アマナ



アカモズ



畦に群生するタチツボスミレ



ハルリンドウ



飯綱町の田園風景



信濃町の田園風景

里・草



ノビタキ



ヒメシジミ



ウラギンヒヨウモン



クジャクチョウ



マツムシソウに来た
ウスリーマルハナバチ



ホンシュウハイイロマルハナバチ



ギンボシヒヨウモン



オオルリシジミ



サクラソウ



オキナグサ



霧ヶ峰



キスゲ



コウリンカ

河川・湖沼



休息するカワウ



カワアイサの群れ



ウケクチウグイ



ケショウヤナギ



コハクチョウとオナガガモやヒドリガモなどカモ類の群れ



天竜川

湿地



クロサンショウウオの卵塊



ホソバノシバナ



オツネトンボ



ミズオオバコ (花) とサンショウモ

デンジソウ



アサザ



ミカワバイケイソウ



ミズバショウの群落



産卵するモリアオガエル



八島ヶ原湿原

危機と対策：開発・荒廃



霧ヶ峰の火入れ



ミヤマシロチョウの生息環境整備



オーナー制度による棚田の稲刈り



放棄された棚田



圃場整備前の水田



圃場整備後の水田

危機と対策：野生動物の増加



シカ防除柵の設置（霧ヶ峰）



シカの採食で植生のなくなった林床



高山帯の残雪にあらわれたニホンジカ（南アルプス）



養蜂場で採食するニホンジカの群れ



シカの忌避植物（コバイケイソウ）の繁茂するお花畑



クマ保護のための学習放獣捕獲



ミシシippアカミミガメ

危機と対策：外来種



ブラウントラウト



ウシガエル



オオキンケイギク



アレチウリ



外来植物の抜き取り



オオカワヂシャ

めぐみ：特産品・受粉・浄化



そば*



いりどり豊かな野菜*



アザミにきたトラマルハナバチ



塩尻のワイナリー*



ニホンミツバチの養蜂



お六櫛*



木曾漆器*



戸隠の竹細工*

*印の写真は、信州・長野県観光協会提供



楠川



わさび田

めぐみ：文化・観光・循環



霞沢岳と西穂テント場



秋の七草、キキョウ



白樺峠で秋のタカの渡りを見る人たち



霧ヶ峰のニッコウキスゲ

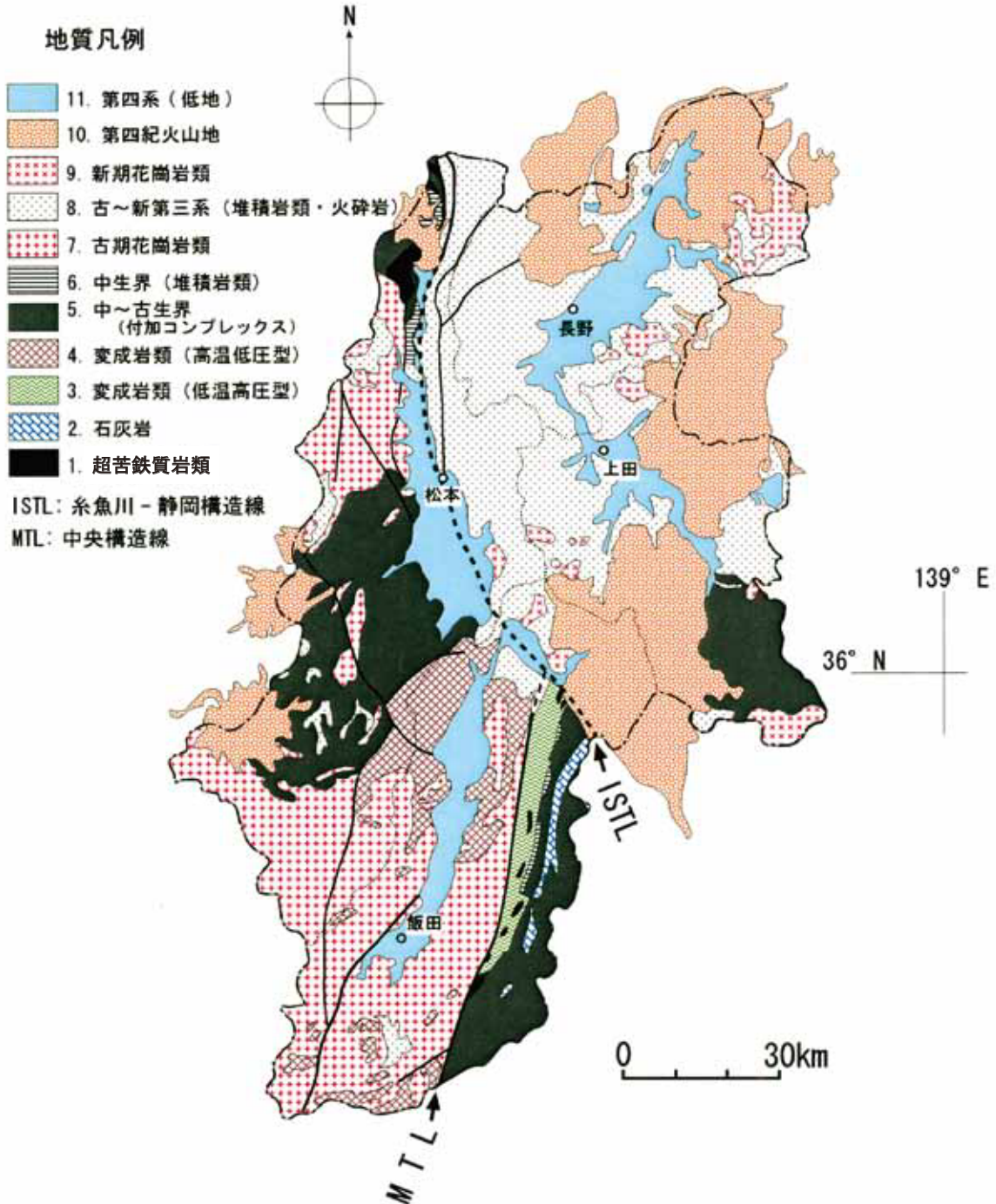


上高地



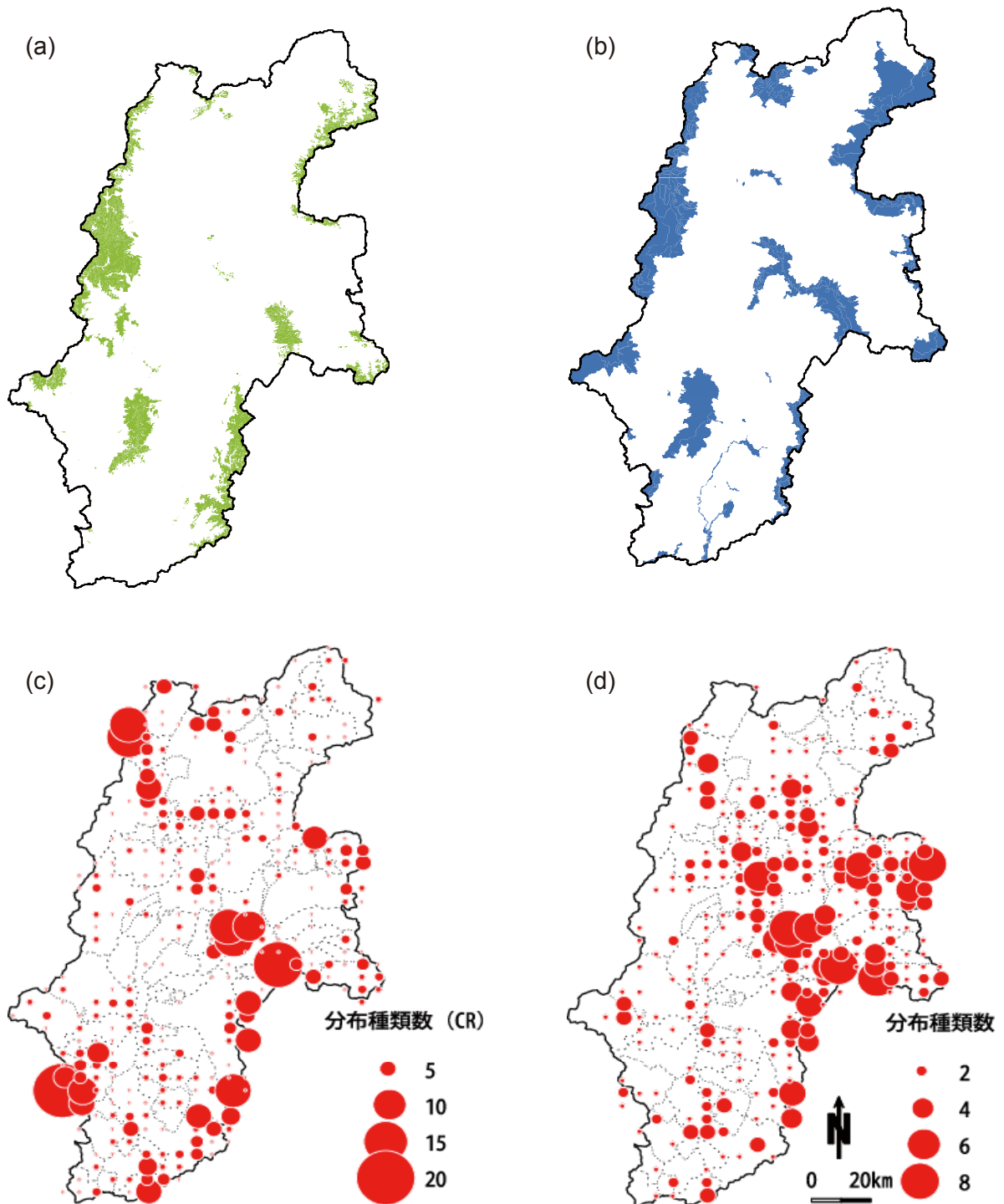
ブナ林

長野県の地質図



長野県は、日本列島の縮図ともいえる多種多様の地質から構成されています。巨視的には、糸魚川—静岡構造線（図のISTL）と呼ばれる大断層を境に、県南西部と北東部で基盤地質が大きく変わります。県南西部は主に中生代以前の地質時代に形成された古期岩層の分布域です。一方、県北東部は新生代新第三紀以降に形成された中期岩層の分布域で、その全域がフォッサマグナと呼ばれる地質区に属します。フォッサマグナは新生代新第三紀の時代に海が入り込み、その後隆起に転じて山地が形成された地域です。これらの基盤地質を覆って、火山周辺や低平地には、第四紀の最新の地質時代に形成された火山噴出物や、扇状地性の堆積物が分布しています。（編図：富樫 均）

ホットスポット



長野県における埴高山・高山帯 (a)、自然公園 (b)、県版 RDB の絶滅危惧 IA 類の維管束植物の分布 (c)、2007 年の環境省版レッドリストで絶滅の危険度のランクが上昇した植物の分布 (d)。(編図 尾関雅章)